

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[SBRS の決定](#)

概要

このドキュメントでは、ESA 用の SenderBase レピュテーション スコア (SBRS) の決定方法について説明します。

前提条件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA)
- AsyncOS のすべてのバージョン

SBRS の決定

SBRS は、インターネットを経由した電子メール送信に対する、IP アドレスの全体的なレピュテーションに基づいています。SenderBase は、多数の変数をスコアに組み込みます。これらの変数には、スパムトラップ、パブリックブラックリスト、ユーザからの苦情、ポリウム データなどがあります。

SBRS の評価の範囲は +10 ~ -10 で、正のスコアは高いレピュテーション、負のスコアは低いレピュテーションです。数値がゼロから離れるにつれて、そのスコアを決定するためのデータ量が多くなります。IP アドレスの SBRS が **None** の場合、メール送信が非常に少ない送信者であるか、またはスコアを決定するためのデータが十分にありません。

送信者のメール量が突然増加した場合、そのスコアが 1~2 ポイント下がります。これは、スパマーおよび感染したホストは多くの場合、膨大な量の送信を突然開始するためです。対象の IP アドレスが新しく、正当なメールを送信している場合、スコアは数日で上がり始めます。

ESA は、接続している IP アドレスの SBRS に基づいて送信者からのメッセージをブロックまたは制限できます。正確な SBRS の範囲とアクションは、インストールによって異なります。最も一般的なのは、**None** および低い負のスコアを制限し、高い負のスコアをブロックする設定です。

SenderBase に関する一般的な情報については、<http://www.senderbase.org> を参照してください。このサイトには、特定の IP アドレスの SBRS に影響するブラックリストが公開されています。ただし、特定の IP アドレスの正確な SBRS を発見できるのは、シスコのお客様と従業員のみです。特定の IP アドレスに関する詳細な情報が必要な場合は、シスコのサポート担当者にお問い合わせください。